

リーディングDXスクール事業【実践事例】

米子市立啓成小学校（鳥取県）

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰り推進に向けての取組

【ICT活用推進部】 1学期反省&2学期に向けての取り組み

児童出欠確認、オンライン集会については達成 全校集会等オフラインの集会との使い分けもできた

グループに加えて の研修もしたい

活用実績

1年生 朝顔の観察、お絵かき タブレットドリルとの連携も視野

2年生 文字入力は難しい（自治体によっては2年生でもタイピング実践有） 給食キャラクターの作画とフォームアンケート

3年生 ストリートビュー活用 タイピングに課題

6年生 持ち帰り学習 全員オンラインで実施 オフラインは事前準備が必要(時間と手間かかる)

デジタル教科書がほしい。算数は登録してないだけで用意可能かも？

タイピング検定したい。(学級単位等小規模 和田小実践)

設備面も予算がつき次第整えていきたい。(電子黒板等)

持ち帰り学習 全学年2学期中に実施(できれば2回) ルールが未策定 6年は暫定的に学校のルールで実施 10月と11月? 冬休み前? 写真を撮ってくる(1、2年生)

特活 ダンスクラブは配信で活用予定

小中連携 特文 動画での交流 学校の様子のVTRしてみたい

【ICT活用推進部】 2学期反省&3学期に向けての取り組み

活用実績

○1年生は、写真をテレビに写して提示。(Classroomなどに、アップされたものを。) だいぶ活用には慣れてきている。 は使っていない。体育はまだ活用がない。

○2年生は連絡帳がホワイトボードから、クラスルームでの指示に変わって、慣れてきている。(朝の段階で、各自クローームを開いて書く。) 2年生 は使った。体育ではICT活用がまだない。

○5、6年算数・国語・理科・体育・総合的な学習等で使用。振り返りや学習の指示など、教科の内容以外でも使用している。

3学期に向けて

○タイピング検定を行いたい。(3年生以上)

○12月4日、5日の持ち帰りを受けて、先生方にアンケート(課題や今後考えていくべきこと。)

○3学期クローーム持ち帰り(2回以上→日常使いにつなげていく。)

ICT活用推進部会では、左記のように定期的に部会を設け、活用の進捗状況や、職員から出た意見や、表出した課題を解決していくための取り組みについて話し合うようにした。

表出した主な課題とその解決策

- ・破損等、児童に自己管理させることに対する不安がある。
→児童に、学校で使用している端末持ち運び用のバッグに必ず入れて登下校させる。
- ・持ち帰らせる目的を明確にしたい。(家で何をさせればよいのか。)
→ドリルソフトを基本として、それ以外にも柔軟に発達段階に応じた課題を出す。授業に活用できそうな課題を考える。
- ・家でのルールを明確にする必要があるのではないか。(新たに家庭用のルールを作成するべきではないのか。)
→校内で既に使用しているルールを家庭でも適用する。状況に応じて児童に判断させる力も必要である。